

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ういんぐ				公表日	2025年 3月12日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		利用定員に対して十分な広さを確保しています。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		5	2	できるかぎり1対1の対応ができるように配慮をしています。	基準の配置は満たしています。安定的に受け入れが行える体制を作っていく必要があります。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5	2	備え付けの幼児用便器がないため、補助便座等を用意しています。	重症心身障害児、動ける医ケア児等様々な特性を持った方に利用をしていただいているため、今後も適切な環境を整備できるように検討していきます。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		7		医療現場の基準に近い清掃や消毒を行っています。	感染に気を付けなければならない利用者様も利用されているため、今後も継続していきます。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		7		当日の利用状況に応じて事業所内の部屋を活用して工夫しています。	今後も継続していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		毎日の朝礼や毎月の会議で話し合いを行っています。会議では日ごろ気になっていることや改善していきたいことについて話し合う議題を作っています。	今後も継続していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		今年度から実施をさせていただきます。	評価内容を多職種で検討し、改善につなげていく体制を整えていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	毎日の朝礼や、毎月の会議で職員が意見を交換する機会を作っています。	今後も継続していきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6	第三者評価は現在行っていません。	第三者評価の実施については今後検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	法人の教育委員会が定期的に職員に向けた研修会を企画しています。外部研修に関しても必要な研修については出張しています。	今後も職員の資質向上のための機会が作れるように取り組んでいきます。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	5	支援プログラムの作成を行っており、HPにて公表しています。	支援プログラムに沿った支援をそれぞれの職員が行えるように取り組んでいきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		契約を進める際は、利用者様と保護者様に見学とアセスメントのご案内をさせて頂いております。ニーズや課題の把握ができるように努めています。	今後も継続して取り組んでいきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		個別支援計画を作成するにあたり、ケース検討会議を必ず実施しています。個別支援計画と合わせて、利用者様の特徴をまとめた支援統一事項という書類を作成し、全体共有をしています。	今後も継続をして取り組んでいきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	支援統一事項をそれぞれの利用者様に作成しており、共有ができるように努めています。毎月のモニタリング結果も職員間で共有をしています。	職員間の共有をより強化できるような仕組み作りを今後は取り組んでいきます。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	5	インフォーマルなアセスメントについては毎日の朝礼で話し合いを行っています。	現状、標準化されたアセスメントツールを利用できていないため今後使用していけるように検討していきます。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2	職員全員で個別支援計画を共有し、見直しを行っています。利用者に合わせて具体的な計画となるように配慮をしています。	今後も適切な計画となるように取り組んでいきます。「地域支援、地域連携」については強化していくことが課題であるため、改善に向けた検討を行っていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	6	保育士、児童指導員が中心となり活動を計画しています。	多職種も巻き込んで活動プログラムの立案が行えるように努めていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		年案を元に月のプログラムを考えています。	今後も計画的な活動プログラムを立案していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	利用者様の状況に応じて支援が行えるように、利用者一人一人に支援統一事項を作成しています。	個別活動についてはより強化できるように今後も取り組んでいきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	できるかぎり朝礼にて話し合う時間を設けています。1日の流れを確認しています。	今後も継続して取り組んでいきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	5	現状支援終了後に話し合いができていませんが、翌日の始業時に振り返りを行うようにしています。	当日の振り返りを今後行っていけるように、職員体制の見直しと業務改善に取り組んでいきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	連絡帳と申し送り記録を通して日々記録を行っています。	今後も継続して取り組んでいきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		毎月モニタリングを実施し共有を行っています。	今後も継続して取り組んでいきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	4	4つの基本活動を組み合わせ活動内容を考え、支援を行っています。地域活動については、休日利用の際に外出に行ったり、市主催の作品展に利用者様の作品を応募したりとできる範囲で行えるよう努めています。	地域活動については十分に行えていないため、より充実できるように取り組んでいきます。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	利用者目線で環境設定に日々取り組んでいます。利用者様が手で取れる位置に玩具や教具を安全を確保しつつ置いています。絵カードやボタンスイッチなど選択できる手段を増やせるように日々試行錯誤しています。	今後も、利用者様の目線に立つて、自ら選ぶ機会を奪わないような環境整備の取り組みを継続していきます。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	会議への参加には、なるべく多職種で参加をして様々な意見を出すことができるように配慮しています。	今後も継続していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	その都度調整し、連携を行えるようにしています。	今後も必要に応じて連携を行っていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	2	基本的には保護者を通して情報共有や連絡調整を行っており、学校との直接的なやり取りはあまり行えていません。	今後も適切に対応ができるようにしていきます。必要に応じて学校との情報共有を行っていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4	今年度については相談員と情報共有を行うことができました。	今後、必要に応じて適切に対応していきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	6	まだ該当する方がいません。	今後、必要に応じて適切に対応していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3	必要に応じて地域や、近隣の児童発達支援センターに見学に行くことで助言を頂く機会を作っています。	今後も連携を図ることができるように、働きかけていきます。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7	今までそういった機会を持っていませんでしたが、今後他事業所と交流を定期的に行っていく予定です。	定期的な他事業所との交流を図っていけるように取り組んでいきます。	

携	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	基本的に利用者様の受け入れに障りが出ない限り参加をさせていただいています。	今後も継続して参加をしていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	2	連絡帳や日々の送迎時のコミュニケーションで共有をさせていただいています。	今後も継続して取り組んでいきます。必要に応じて改善を重ねていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	6	ういんぐでの家族支援プログラムや研修等は現在行えていません。	今後実施ができるように前向きに検討をさせていただきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	2	運営規定については、事業所内のいつでも閲覧できる場所にファイルを設置しています。利用者負担等についても契約時にご説明しています。	契約時にその都度ご説明をさせていただいていますが、ご質問等があればその都度迅速に対応をさせていただきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		個別面談を定期的に行っており、個別支援計画の方向性や現状の課題を確認しています。	今後も適切に対応していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		個別支援計画を元に保護者様へご説明をし、同意を得るようにしています。	今後も適切に対応していきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	その都度丁寧、迅速に応じることができるように努めています。	今後も適切に対応していきます。必要に応じて改善に努めていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	6	父母の会はまだ行うことができていません。今後前向きに検討をしていきたいと思っています。法人内で行う行事にはきょうだい児の参加を積極的に呼びかけています。	土日祝日は営業を行っていないため、保護者が交流できる機会の設定が現状困難です。保護者交流の機会の為にも検討をしていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情対応の体制を整えており、契約時に保護者様にお伝えをしています。	今後も適切に対応していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		法人全体でブログ更新に取り組んでいます。	今後も継続していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	1	契約時に個人情報の取り扱いについて同意を得ています。また、ブログへの掲載等は2者確認を行っています。	今後も適切に対応していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1	意思疎通の伝達手段を増やすために、スイッチボタンや絵カードを取り入れています。	今後も、利用者様に合わせた仕組みづくりやツールを導入していただけるようにしていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	事業所としては行えていませんが、法人として地域に開けた行事や活動に取り組んでいます。	今後も地域に開かれた事業所となるよう取り組んでいきます。
非常時等の	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		7	定期的に緊急時対応マニュアルに基づいて研修を行っています。	詳しいご家族への周知は行えていませんでした。今後は適切に対応をしていきます。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2	BCPの作成を行っています。また、毎月の災害、防災訓練を実施しています。	今後も定期的なBCPの見直しを行っていきます。定期的な訓練も継続していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		契約時にその都度聞き取りを行っています。	今後も継続してしていきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	5	栄養士と情報共有を行い、安全に給食提供ができるように気をつけています。	医師の指示書に基づく対応は行えていないため、今後検討をさせていただきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	3	安全計画については今年度作成を行っています。安全管理についても、環境ごとに担当者を設定し、維持管理に努めています。	今後も継続して行っていきます。必要な研修等があれば、実施ができるように努めていきます。

対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2	安全確保については、安全計画を元に防災訓練等の対策に取り組んでいます。今年度は家族への周知は実施ができませんでした。	今後、安全計画の周知を行っていくとともに、定期的な見直しについても行っていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	対策方法についてはヒヤリハット報告時に都度検討をしています。経過については、毎月の会議で共有ができるように議題にあげています。	今後も、迅速で適切な対応ができるように取り組んでいます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		法人内の虐待防止委員会が研修を実施しています。	毎日の振り返りや、会議の際に支援の振り返りを行っています。今後も適切に対応していきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		契約時にその都度身体拘束についての同意を得ています。転倒防止の為にヘルムを使用する椅子等に座っていただく利用者様については個別支援計画に記載をしています。	毎日の振り返りや、会議の際に支援の振り返りを行っています。今後も適切に対応していきます。